

令和5年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー		
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト		
主管課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	本橋 直人	
		評価日	令和6年6月1日	
関連課	市民課、市民総合窓口課、協働推進課、学校教育課、社会教育課（公民館）			
目標	文化芸術を通して多様な市民の交流を図るとともに、ふじみ野市の文化的な魅力を発信することで地域の活性化につなげます。また、市民と文化芸術とをつなぐ人材や団体の育成を図ります。			
施策目標の実現に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ○文化的な魅力の発見・発信 <ul style="list-style-type: none"> ・市内のアートスポットやアーティスト、ユニークな取組など、市の文化的な魅力を市民参加により発見・発信し、地域の活性化につなげます。 ○文化の担い手の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・次世代の文化創造を担う子どもの豊かな心や創造性を育むため、子どもの頃から文化芸術に触れる機会を充実します。 ・市民と文化芸術をつなぐコーディネーター、ボランティアなどの育成を進めます。 ○文化芸術に出会う機会の提供と交流促進 <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術を通して、子育て世代、高齢者、障がい者、外国籍市民など多様な市民の交流を促進します。 ・多くの市民がいきいきと文化芸術活動に取り組める環境づくりを進めます。 ○文化施設の維持管理・整備 <ul style="list-style-type: none"> ・市民が文化施設を快適に利用できるよう維持管理を行います。 ・文化施設整備基本構想・基本計画及び管理運営計画に基づき、施設の整備を進めるとともに適正に管理運営を行います。 			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標 1	指標名	文化芸術を通して多様な人が出会う交流促進事業への参加施設・団体数					
		説明	文化芸術を通して多様な人が出会う交流事業に企画段階から参加する団体数により交流の促進を図る。令和5年度は新たな文化施設ステラ・ウェストにて二日間開催したため、参加団体数を実績値とした。					
		単位	施設・団体数					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	4	5	6	9	12	15
		実績値	5	16	15	21	37	43
	指標 2	指標名	市民と文化芸術をつなぐコーディネーター育成数					
		説明	学校等と芸術家を結び、企画・運営・実施等を芸術家とともに支援するコーディネーターを育成することにより文化芸術に触れる機会の拡充を図る。令和5年度は派遣先からのニーズを踏まえ実施しなかった。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	3	5	8	8	8	8
		実績値	0	2	2	3	0	0
	指標 3	指標名	文化芸術事業への参加者数					
		説明	市民が身近な環境で参加できる文化芸術の必要性を文化事業への参加者数で計る。令和5年度は新たに小中学生を対象とした文化芸術活動地域支援事業の実施等により参加者数が増加した。					
		単位	人					
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	4,860	5,090	5,340	5,600	5,880	6,170	
	実績値	7,100	6,090	0	4,316	6,262	11,756	
指標 4	指標名	ふじみ野ステラ・イーストホール棟の進捗率						
	説明	ふじみ野ステラ・イーストホール棟の整備事業の進捗率を指標とする。令和5年9月より解体工事に着手した。						
	単位	%						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値					2	19	
	実績値					2	19	
指標 5	指標名	ふじみ野ステラ・ウェスト整備事業の進捗率						
	説明	ふじみ野ステラ・ウェストの整備事業の進捗率を指標とする。令和5年11月にオープンした。						
	単位	進捗率（%）						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	0.00	0.00	1.00	15.00	75.00	100.00	
	実績値	0.00	0.00	0.70	12.00	69.00	100.00	

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	16,395	85,593	1,081,519	572,987	1,216,656	6,782,360
	人件費	22,461	23,572	29,367	38,294	40,420	41,077
収入	特定財源	579	21,241	1,025,158	484,222	1,105,987	6,488,980
	一般財源	38,277	87,924	85,728	127,059	151,089	334,457

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	文化芸術に出会う機会の提供と交流促進	文化芸術企画提案型委託事業や文化芸術未来応援事業、アートフェスタふじみ野、また、新たに令和5年度より市内小中学生を対象にした文化芸術活動地域支援事業を開始し、積極的に多様な事業を展開したことで市民に文化芸術に触れる機会を創出した。	文化芸術企画提案型委託事業17件、文化芸術未来応援事業6件、アートフェスタふじみ野(43企画)、文化芸術活動地域支援事業(10分野)など文化芸術に触れる機会の提供及び世代や地域を超えた交流を促進した。	文化振興事業
取組②	文化の担い手の育成	市内小中学校6校からの派遣要請に対し音楽家等を派遣し、チェンバロやフルートの生演奏、合唱指導、キャリア教育など子どもの頃から様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供した。	地域で活動する音楽家等を知るとともに、楽器の音色や本格的な生演奏、音楽家等のキャリアに触れることで次世代の担う子どもたちに、文化芸術の魅力を伝えた。	文化振興事業
取組③	文化の魅力発見・発信	アート発見・発信プロジェクトとして市民との協働により「ART88vol.9」を発行した。また、本庁舎のギャラリー及び大井総合支所の展示スペースを貸出し、市民の文化活動の場を提供した。	市内でまだ知られていないアートプレイスやアーティストを市民目線で継続的に掘り起こし発信するとともに、作成した冊子を様々な機会や場所で配付することで市内で活動するアーティストや市の魅力を幅広く発信した。	文化振興事業
取組④	文化芸術活動未来応援事業	市内の若手芸術家やアーティスト等の自主的・創造的な文化芸術活動を支援し、乳幼児からシニア、障がいのある人まで、全ての世代を対象とする文化芸術事業を実施した。また、関東大会以上の大会に出場された方への活動費用を補助した。	コンサートやワークショップなど6件(内チャレンジ1件)を採択し団体等の活動を支援した。また、親子を対象としたファミリーコンサートや、大人のための読み聞かせなど内容に工夫を凝らし、子どもから大人まで幅広い世代に文化芸術に触れる機会を提供した。	文化振興事業
取組⑤	文化施設の整備	○ステラ・ウェストの整備 令和5年9月末に竣工するとともに、大井総合支所前仮設駐車場及び旧大井図書館間前駐車場を併せて整備した。 ○ステラ・イーストホール棟の整備 令和6年3月に実施設計を完了させ、令和5年9月より解体工事に着手した。	○ステラ・ウェストの整備 令和5年11月4日にリニューアルオープンを迎え、4日・5日と開館記念式典及びオープニングイベントを開催した。 ○ステラ・イーストホール棟の整備 令和5年9月より解体工事に着手し、令和6年3月に実施設計が完了した。	文化施設整備事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	○文化振興事業 「アートフェスタふじみ野2023」では、リニューアルオープンしたステラ・ウェストにて令和6年2月10日及び11日の二日間開催し、ホール事業のみならず、諸室でのワークショップやギャラリーコンサート等、全43企画のイベントを実施し、多くのアーティストの活動の場を提供するとともに、二日間の来場者数は延べ6,637人に達し、複合施設である特性を活かしながら、図書館利用者も含め多くの市民に文化芸術に触れる機会を提供した。
おおむね順調	
行政資源の活用	また、令和5年度より市内小中学生を対象にした文化芸術活動地域支援事業を実施し、合唱、楽器演奏、演劇、美術等全10分野において各種ワークショップ等を行い、文化芸術に触れる機会の提供や居場所づくりを推進した。
適切	
取組の有効性	○文化施設整備事業
有効	ステラ・ウェストは令和5年11月4日にリニューアルオープンを迎え、4日及び5日に記念式典、オープニングイベントを実施し、274人の来賓及び42団体に出席・出演いただくとともに二日間をとおした来館者は10,211人に達した。
施策の効果	ステラ・イーストホール棟は令和5年9月より解体工事に着手するとともに令和6年3月に実施設計が完了した。
大きな効果が得られている	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		文化振興事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト		
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー		
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費		
所管部課		市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		文化芸術振興基本法、文化・スポーツ振興条例、絵画等展示要綱、後援等承認手続きに関する要綱、文化振興計画		
事務事業の内容	事務事業の目的	全ての市民を対象に、身近な環境のなかで文化・芸術等に触れる機会を提供するとともに文化活動の環境整備を図り、市民の自主的・創造的な文化活動を推進し活力ある地域社会の実現をめざす。 また、第2期ふじみ野市文化振興計画に基づき目指すべき姿の実現に向けて各施策を推進する。		
	事務事業の経緯	平成26年度より文化振興事業の主管課を協働推進課から文化・スポーツ振興課に移管し、平成27年10月1日「ふじみ野市文化・スポーツ振興条例」を制定した。 また、令和4年度には「第2期ふじみ野市文化振興計画」を策定し、文化振興審議会へ施策の具現化に向けた諮問を行いながら、文化振興施策を総合的に展開している。		
	事務事業の概要	①令和4年度に策定した「第2期ふじみ野市文化振興計画」に基づき、文化振興事業に取り組む。 ②平成29年度文化振興審議会の答申「文化芸術振興の財源確保の在り方及びその効果的な活用」を受け具体的な制度を構築するため、平成30年度も文化振興審議会へ「文化振興に係る助成制度のあり方について」を諮問し、4回にわたる審議を経て「文化芸術振興未来応援事業」として答申を受け、令和元年度から文化芸術振興の新たな助成制度を構築した。 ③市民の文化活動支援の一環として市民に公共施設展示スペースを貸出し、発表の場を提供する。		
	令和5年度の主な取組	令和5年度は文化芸術企画提案型委託事業「ホール活用プロジェクト3件、アートに触れようプロジェクト6件、街中に音色が響くプロジェクト8件」や文化芸術未来応援事業6件（内チャレンジ事業1件）、小中学校へのアウトリーチ事業10回、アートフェスタふじみ野2023事業を2日間にわたり「ホール25企画、ギャラリーイベント6企画、アートワークショップ11企画、展示」実施した。 また、市民編集員によるアート発見・発信編集発行事業にてVol.9号を発行するとともに市役所本庁舎等のギャラリーを活用した市民による展示を行った。 さらに、将来的な部活動の地域移行を見据え、令和5年度より新たに文化施設指定管理者及びふじみ野市文化協会の協力のもと中学生を対象とした文化芸術活動地域支援事業を10分野実施した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	1.10	1.99
		人件費	3,983	8,716	15,767
	再任用職員	従事人数(人)	0.80	0.20	0.00
		人件費	4,217	1,038	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.49	0.49	1.00
	人件費	1,015	1,024	3,418	
人件費計		9,215	10,778	19,185	
事業費	報酬※	1,052	1,005	2,294	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	364	444	630	
	委託料	5,674	1,201	2,025	
	使用料及び賃借料	793	344	1,163	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	2,162	4,808	7,400	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	496	746	2,228	
支出合計		18,741	18,302	31,507	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	3,276	491	710
		その他	0	29	123
一般財源		15,465	17,782	30,674	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		136	156	261	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標	指標名	文化芸術を通して多様な人が出会う交流促進事業への参加施設・団体数		
	説明	文化芸術を通して多様な人が出会う交流事業に企画段階から参加する団体数の数により交流の促進度を図る。交流促進事業に参加、協力等を行う企業・団体等の数を指標としている。令和5度はアートフェスタ参加団体数。(43団体) ※将来構想施策指標(令和6年度以降見直し予定)		
活動	単位	団体		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	12	15	0
	実績値	37	43	
指標	指標名	文化芸術事業への参加者数		
	説明	市民が参加した文化芸術事業の参加者数。(前年度比5%増を目標値とする) ※将来構想施策指標		
成果	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	5,880	6,300	6,480
	実績値	6,262	11,756	
指標	指標名	市民と文化芸術をつなぐコーディネーター育成数		
	説明	学校等と芸術家を結び、事業の企画・運営・実施等を芸術家とともに支援するコーディネーターの育成数を指標とした。※平成30年度に新規で設定した指標。令和5年度はアウトリーチ派遣先より新たな分野等のニーズが無かったため新規でコーディネーターの育成は実施しなかった。今後は派遣先のニーズを踏まえながら実施していく。※将来構想施策指標(令和6年度以降見直し予定)		
成果	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	8	8	0
	実績値	3	3	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>積極的に多種多様な事業を展開し市民が文化芸術に触れる機会を創出できた。</p> <p>(1) アートフェスタふじみ野2023(実行委員会への補助事業として実施) ・実施日時等 : 令和6年2月10日(土)、11日(日) 企画数43件、来場者数6,637人</p> <p>(2) 文化芸術企画提案型委託事業 ・ホール活用プロジェクト 8回 来場者数2,858人 ・アートに触れようプロジェクト 9回 参加者数 98人 ・街中に音色が響くプロジェクト 8回 来場者数 204人</p> <p>(3) 文化芸術未来応援事業 8回 来場者数 432人</p> <p>(4) 文化芸術チャレンジ事業 申請者1人</p> <p>(5) アウトリーチ事業 ・実施校: 上野台小・花の木中学校(チェンバロ、フルートの演奏)、福岡中学校(キャリア教育)、福岡小学校(木管楽器の授業及びフルート、ピアノの演奏)、東原小学校(合唱指導)、東台小学校(キャリア教育、合唱指導)</p> <p>(6) アート発見発信プロジェクト(Vol.9) 市内で活躍するアーティストなどを市民編集員が取材し冊子に取りまとめた。 ・編集員: 6人 ・取材先: 6件 ・冊数: 10,000部</p> <p>(7) 文化芸術活動地域支援事業 市内中学生を対象に各種ワークショップ等を開催した。 ・分野: 全10分野(合唱、楽器演奏、演劇、美術、ダンス、茶道等) ・参加者数: 280人</p>
--------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	「第2期ふじみ野市文化振興計画」が令和5年度よりスタートし、引き続き将来像である「様々な市民が協働し、文化芸術を育み、支え、未来につなげるまち ふじみ野」の実現に向けた取組みを更に推進する必要がある。事業の推進に当たっては、令和5年4月に設立されたふじみ野市文化協会や文化施設指定管理者、市内で活動する文化芸術活動団体等との連携・協力の強化が必要不可欠である。
中長期的方向性	また、文化芸術活動地域支援事業は体験型のワークショップを引き続き開催する他、令和6年度より部活動を支援するスキルアップ事業を展開する。
拡充	さらに、令和6年度はアート分野に力を入れるため、本市において古くから伝わるお囃子や日本舞踊、和太鼓、民謡などの伝統芸能を確実に継承するとともに発展を図っていくため新たに伝統文化芸能保存継承事業を実施する。

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	文化施設整備事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	平成30年度～	評価日	令和6年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	文化芸術基本法、文化・スポーツ振興条例、文化振興計画、ふじみ野市文化施設等の整備に係る方針、ふじみ野市文化施設基本構想・基本計画、ふじみ野市文化施設管理運営計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	同規模のホールを有する複数の公民館等の文化施設が耐震性の不足、躯体の老朽化、ホールの特定天井など市民の文化活動施設として早急に整備することが求められており、複合化、改築、大規模改修等の整備方針及び整備手法を「ふじみ野市文化施設基本構想・基本計画」としてまとめ、整備事業を推進するものである。		
	事務事業の経緯	政策分野において、平成22年9月「公共施設適正配置計画」策定後、平成28年度「公共施設適正配置計画一部見直し業務報告書」、平成29年度「文化施設等の整備に係る方針」、「公共施設適正配置計画の検証結果及び施設整備・維持管理の今後の方針」などを策定し、それらの方針を受け、令和元年6月に「文化施設基本構想・基本計画」、令和2年3月に「文化施設管理運営計画」を策定した。		
	事務事業の概要	平成28年度に実施した「公共施設適正配置計画一部見直し業務報告書」及び平成29年度「文化施設等の整備に係る方針」に基づき、平成30年度に整備内容の検討を行い、最終的に大井中央公民館（大井図書館含む）、勤労福祉センターについては建て替え、上福岡公民館・コミュニティセンターは大規模改修を行う。 また、整備した文化施設の管理運営の指針となる「文化施設管理運営計画」を令和2年3月に策定したことから、計画に基づき文化施設の維持管理及び運営を行う。		
	令和5年度の主な取組	(1)ステラ・ウェストのオープン ・令和5年11月4日に開館記念式典及び5日と併せてオープニングイベントを開催した。 (2)ステラ・イーストホール棟 ・令和5年8月末で旧勤労福祉センターを閉館し、9月より解体工事に着手するとともに令和6年3月に実施設計が完了した。 (3)上福岡西公民館の大規模改修 ・令和5年12月に教育委員会より整備方針について協議があり、文化振興審議会等の意見を踏まえ文化施設として整備することに決定、それに伴う設計業務費用を令和6年度当初予算に計上した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.20	1.80	2.60
		人件費	9,558	14,262	20,600
	再任用職員	従事人数(人)	0.70	0.60	0.00
		人件費	3,690	3,114	0
会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00	
	人件費	0	0	0	
人件費計		13,248	17,376	20,600	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	13	1,202	424	
	委託料	25,602	87,427	77,406	
	使用料及び賃借料	0	951	957	
	工事請負費	1,077,010	6,402,290	1,266,901	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	13	11,597	329,002		
支出合計		1,115,886	6,520,843	1,695,290	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	537,000	3,102,100	796,200
		基金	552,632	3,359,273	865,562
		その他	0	0	0
一般財源		26,254	59,470	33,528	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		230	521	286	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ステラ・ウェスト整備事業の進捗率		
	説明	ステラ・ウェスト整備事業の進捗率を指標とする。		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	83.30	100.00	0.00
	実績値	69.00	100.00	
指標 2	指標名	ステラ・イーストホール棟整備事業の進捗率		
	説明	ステラ・イーストホール棟整備事業の進捗率を指標とする。		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	2.21	19.20	72.80
	実績値	2.21	19.20	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	(1)ステラ・ウェストの整備
	<ul style="list-style-type: none"> ①基本設計 令和2年5月～12月にかけて、整備に向けた協議を行い、令和3年1月に基本設計が完了した。 ②拡張用地の取得 令和元年9月に売買予約契約を締結した拡張用地について、令和2年11月に売買契約を締結した。 ③大井中央公民館の解体工事 令和3年3月に旧大井中央公民館の解体に着手し、同年11月に解体工事が完了した。 ④実施設計 基本設計完了後に実施設計を行い、令和4年3月に完了した。 ⑤新築工事 新築工事は令和5年9月末に竣工するとともに、大井総合支所前仮設及び旧大井図書館前駐車場についてもオープンに合わせて整備が完了した。 11月4日午前に開館記念式典、4日午後及び5日にかけてオープニングイベントを開催し、274人の来賓及び42団体にご出席・ご出演いただくとともに2日間をとおした来館者は10,211人に達した。
	(2)ステラ・イーストホール棟の整備
	<ul style="list-style-type: none"> ①基本設計 令和4年5月～12月にかけて、整備に向けた協議を行い、令和5年3月に基本設計が完了した。 ②ホール棟の解体工事 令和5年9月より解体工事に着手し、令和6年5月に完了する予定。 ③実施設計 基本設計完了後に実施設計を行い、令和6年3月に完了した。
	(3)上福岡西公民館の大規模改修
	令和5年12月に教育委員会より整備方針について協議があり、文化施設として整備を進めるため令和6年度当初予算に設計業務費用を予算計上した。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	(1)ステラ・ウェストの駐車場整備 ステラ・ウェストの大井総合支所前仮設駐車場の使用は令和6年9月までの契約期間であることから、代替用地として市民憩の森の一部を地権者より購入し、駐車場整備を進める。当該費用は令和6年度当初予算に計上した。
中長期的方向性	(2)上福岡西公民館の大規模改修工事 令和6年度に設計業務が完了し、令和7年度より工事に着手する。設計に当たっては利用者からの意見を踏まえニーズに沿った利便性の高い施設となるよう進める。
拡充	また、当該施設は敷地が狭隘であることや民家が多数隣接をしていることから工事手法や工期等については十分に事業者と調整し安全に整備を進める。

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	文化施設管理運営事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	令和2年度～	評価日	令和6年6月1日	
個別計画根拠法令・条例等	文化芸術基本法、文化・スポーツ振興条例、文化振興計画、ふじみ野市立文化施設条例、ふじみ野市文化施設管理運営計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	文化芸術、生きがい学習、生涯学習の拠点として、市内全域からたくさんの方が集まり、「行ってみたい」「また行きたい」と感じられる「ふじみ野市の文化と人の交流の拠点」として施設の運営維持管理を行う。		
	事務事業の経緯	平成30年度から産業文化センターの管理が産業振興課から文化・スポーツ振興課に移管された。また、令和3年2月19日にステラ・イースト多目的棟の大規模改修工事が完了し、令和5年4月から管理運営は指定管理者へ移行している。ステラ・ウェストは令和5年11月4日に開館し指定管理者にて管理運営を行っている。		
	事務事業の概要	産業文化センターは平成21年度に指定管理者制度を導入し施設の運営管理を行っている。ステラ・イースト及びウェストは令和5年度より指定管理者へ移行し、この3施設を毎月1回モニタリングを行い施設管理及び事業実施状況の点検等を行い、安全で利便性の高い施設運営を推進している。		
	令和5年度の主な取組	(1)産業文化センター 毎月1回行っているモニタリングを通して、施設の維持管理及び事業実施の状況の確認を行った。また、令和5年10月に空調更新工事に着手し令和6年3月に完了し、利用者の施設環境の改善を図った。 (2)ステラ・イースト及びウェスト イーストは令和5年4月1日より、ウェストは11月4日より指定管理者制度を開始した。両施設とも毎月1回実施しているモニタリング等を通して施設の維持管理の状況確認を行った。なお、指定管理者へ移行したことにより利用料のキャッシュレス決済やチケット販売システム、コンベクションサービス等が導入され利便性が向上するとともに、多種多様な事業を数多く実施した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.60	1.50	2.30
		人件費	4,779	11,885	18,223
	再任用職員	従事人数(人)	2.50	0.20	0.00
		人件費	13,178	1,038	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	17,957	12,923	18,223	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	29,059	424	220	
	委託料	74,641	193,796	234,100	
	使用料及び賃借料	146	35	0	
	工事請負費	0	75,778	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	647	1,337	1,346	
	支出合計	122,450	284,293	253,889	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	301	488
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	1,400	18,700	0
		基金	11,679	8,000	17,000
		その他	0	86	0
	一般財源	109,371	257,206	236,401	
	市民1人あたりの負担コスト(単位：円)	958	2,253	2,014	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ステラ・イースト多目的棟施設利用者数		
	説明	改修前の上福岡公民館・コミュニティセンターの利用者数（51,913人）から毎年1%増加の増加を目指していく。 ※地域再生計画目標値（目標最終年：令和6年度）		
活動	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	52,913	53,413	53,913
	実績値	51,376	67,891	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	(1)産業文化センター
	<ul style="list-style-type: none"> 空調更新工事 令和4年度に設計業務が完了し、令和5年10月より更新工事に着手、令和6年3月に完了した。老朽化した空調設備を更新したことで、施設環境が向上した。
	(2)ステラ・イースト及びウエスト
	<ul style="list-style-type: none"> 利便性の向上 キャッシュレス決済、チケット販売システム、コンベンションサービス、HPへサークル紹介を掲載 各種事業の実施 両施設の特性を生かし多種多様な文化芸術に触れる機会を市民に提供した。 <p>〈イースト〉 環境問題とアートを融合させた「ブイアートワークショップ」や、新田恵利さんによる「スマートな介護の目指し方」などの講演会やワークショップ等を実施した。 また、令和5年8月にはイーストホール棟（旧勤労福祉センター）さよならイベントを開催し、「ホールで歌ってみよう」には54人、「みんなで絵を描こう」には71人の市民等に参加いただいた。</p> <p>〈ウエスト〉 高性能なピアノを活用した「ホールでピアノを弾こう」や「ファミリーコンサート」、「オペラ公演」など質の高いホール事業を多数実施した。 施設の維持管理 維持管理を行うSPCと施設の運営及び日常管理を行う指定管理者（図書館の指定管理者も含む）、市と三者により月一回のモニタリングをとおして施設点検を行い安全な施設管理を推進した。 </p>
	(3)次期指定管理者の募集
	産業文化センター及びステラ・イーストホール棟は令和6年度に指定管理者を選定することから、仕様書の見直しや指定管理料の見直しを行った。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	ステラ・イースト及びウエストは指定管理者へ移行して間もないことから安全で利用しやすい施設となるよう引き続き指定管理者と連携して施設管理・運営を行う。 また、イーストホール棟は令和7年10月のオープンを目指して設備を進めており、令和6年度に指定管理者を選定するため、仕様書の作成や指定管理料の見直しを行う。
中長期的方向性	産業文化センターはこれまで設備等の経年劣化による修繕を行ってきたが、引き続き指定管理者と連携し施設点検を行うことで安全管理に努めるとともに、不具合が発生した場合は迅速に修繕を行い、利用者への影響が生じないように努める。
拡充	また、令和6年度に次期指定管理者の選定を行うことから仕様書の作成や指定管理料の見直しを行う。 さらに、上福岡西公民館について大規模改修が完了した後の施設の管理運営形態について検討を進める。